



日本慢性期医療協会

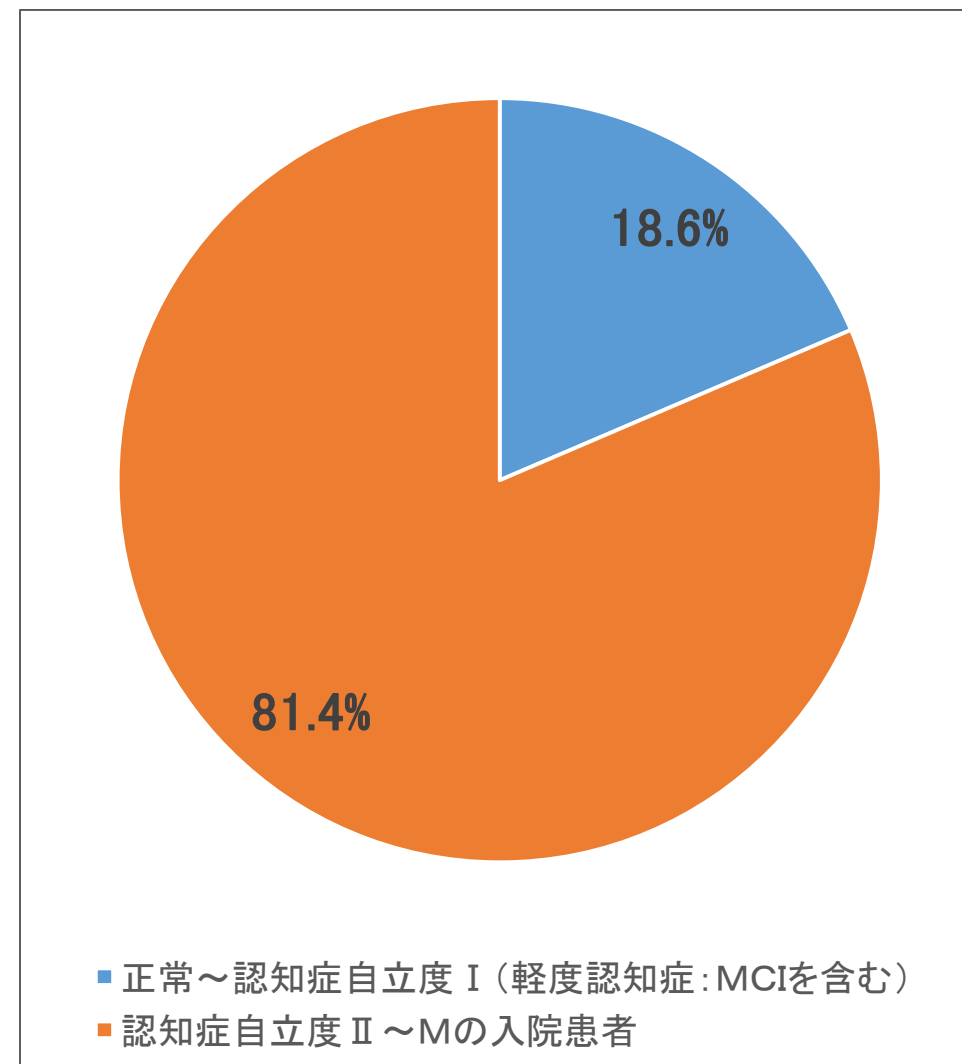
One Day 調査 認知症患者の状態に関する調査
“平成26年7月15日”における入院患者の状態

集計結果まとめ

1. 病床種別ごとの回答病院数、回答患者数

病床種別	病院数 ※重複あり	患者数	うち、認知症 自立度Ⅱ～M	
			患者数	比率
医療療養(20対1)	53	3,532	3,050	86.4%
介護療養型医療施設	39	2,641	2,548	96.5%
回復期リハ病棟	18	794	372	46.9%
医療療養(25対1)	15	741	631	85.2%
障害者施設等入院基本料	10	576	483	83.9%
認知症治療病棟以外の精神病棟	5	571	278	48.7%
精神病棟(認知症治療病棟)	3	271	271	100.0%
一般病床(7対1)	5	256	113	44.1%
一般病床(15対1)	6	248	184	74.2%
一般病床(10対1)	6	224	107	47.8%
特殊疾患病棟	2	131	116	88.5%
地域包括ケア病棟	2	82	70	85.4%
一般病床(13対1)	3	76	37	48.7%
計	115	10,143	8,260	81.4%

【グラフ1】 入院患者数に占める認知症自立度Ⅱ～Mの患者



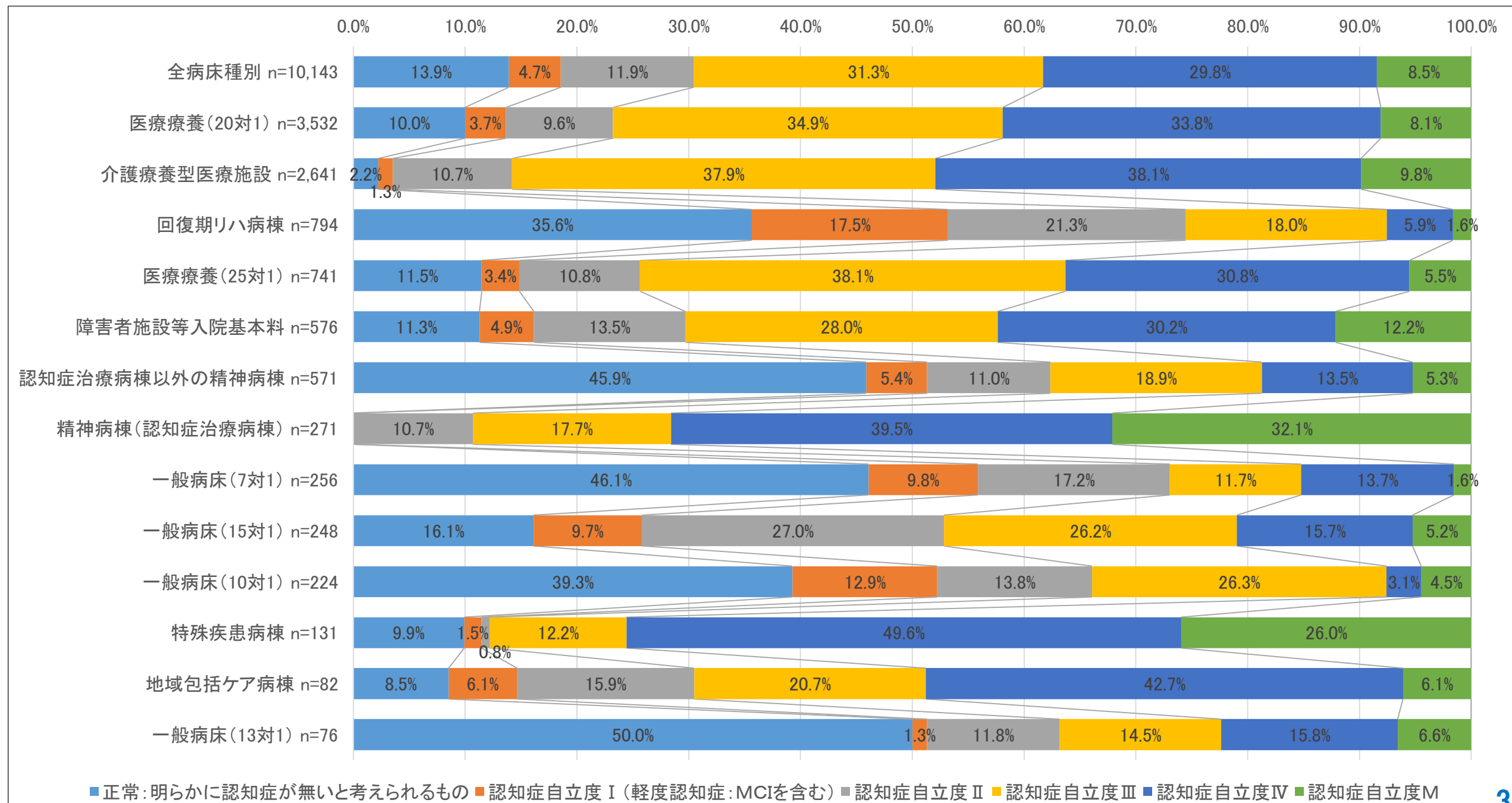
2. 認知症自立度

	全病床種別	医療療養 (20対1)	介護療養型医療施設	回復期リハ病棟	医療療養 (25対1)	障害者施設等入院基本料	認知症治療病棟以外の精神病棟	精神病棟 (認知症治療病棟)	一般病床 (7対1)	一般病床 (15対1)	一般病床 (10対1)	特殊疾患 病棟	地域包括 ケア 病棟	一般病床 (13対1)
入院患者総数	10,143人	3,532人	2,641人	794人	741人	576人	571人	271人	256人	248人	224人	131人	82人	76人
正常：明らかに認知症が無いと考えられるもの	1,411人 (13.9%)	353人 (10.0%)	59人 (2.2%)	283人 (35.6%)	85人 (11.5%)	65人 (11.3%)	262人 (45.9%)	0人 (0.0%)	118人 (46.1%)	40人 (16.1%)	88人 (39.3%)	13人 (9.9%)	7人 (8.5%)	38人 (50.0%)
認知症自立度Ⅰ (軽度認知症：MCIを含む)	472人 (4.7%)	129人 (3.7%)	34人 (1.3%)	139人 (17.5%)	25人 (3.4%)	28人 (4.9%)	31人 (5.4%)	0人 (0.0%)	25人 (9.8%)	24人 (9.7%)	29人 (12.9%)	2人 (1.5%)	5人 (6.1%)	1人 (1.3%)
認知症自立度Ⅱ	1,204人 (11.9%)	338人 (9.6%)	282人 (10.7%)	169人 (21.3%)	80人 (10.8%)	78人 (13.5%)	63人 (11.0%)	29人 (10.7%)	44人 (17.2%)	67人 (27.0%)	31人 (13.8%)	1人 (0.8%)	13人 (15.9%)	9人 (11.8%)
認知症自立度Ⅲ	3,172人 (31.3%)	1,232人 (34.9%)	1,000人 (37.9%)	143人 (18.0%)	282人 (38.1%)	161人 (28.0%)	108人 (18.9%)	48人 (17.7%)	30人 (11.7%)	65人 (26.2%)	59人 (26.3%)	16人 (12.2%)	17人 (20.7%)	11人 (14.5%)
認知症自立度Ⅳ	3,026人 (29.8%)	1,194人 (33.8%)	1,006人 (38.1%)	47人 (5.9%)	228人 (30.8%)	174人 (30.2%)	77人 (13.5%)	107人 (39.5%)	35人 (13.7%)	39人 (15.7%)	7人 (3.1%)	65人 (49.6%)	35人 (42.7%)	12人 (15.8%)
認知症自立度M	858人 (8.5%)	286人 (8.1%)	260人 (9.8%)	13人 (1.6%)	41人 (5.5%)	70人 (12.2%)	30人 (5.3%)	87人 (32.1%)	4人 (1.6%)	13人 (5.2%)	10人 (4.5%)	34人 (26.0%)	5人 (6.1%)	5人 (6.6%)

3. 認知症自立度Ⅱ～Mの患者

	全病床種別	医療療養 (20対1)	介護療養型 医療施設
入院患者総数	10,143人	3,532人	2,641人
そのうち、認知症自立度Ⅱ～Mの入院患者	8,260人 (81.4%)	3,050人 (86.4%)	2,548人 (96.5%)

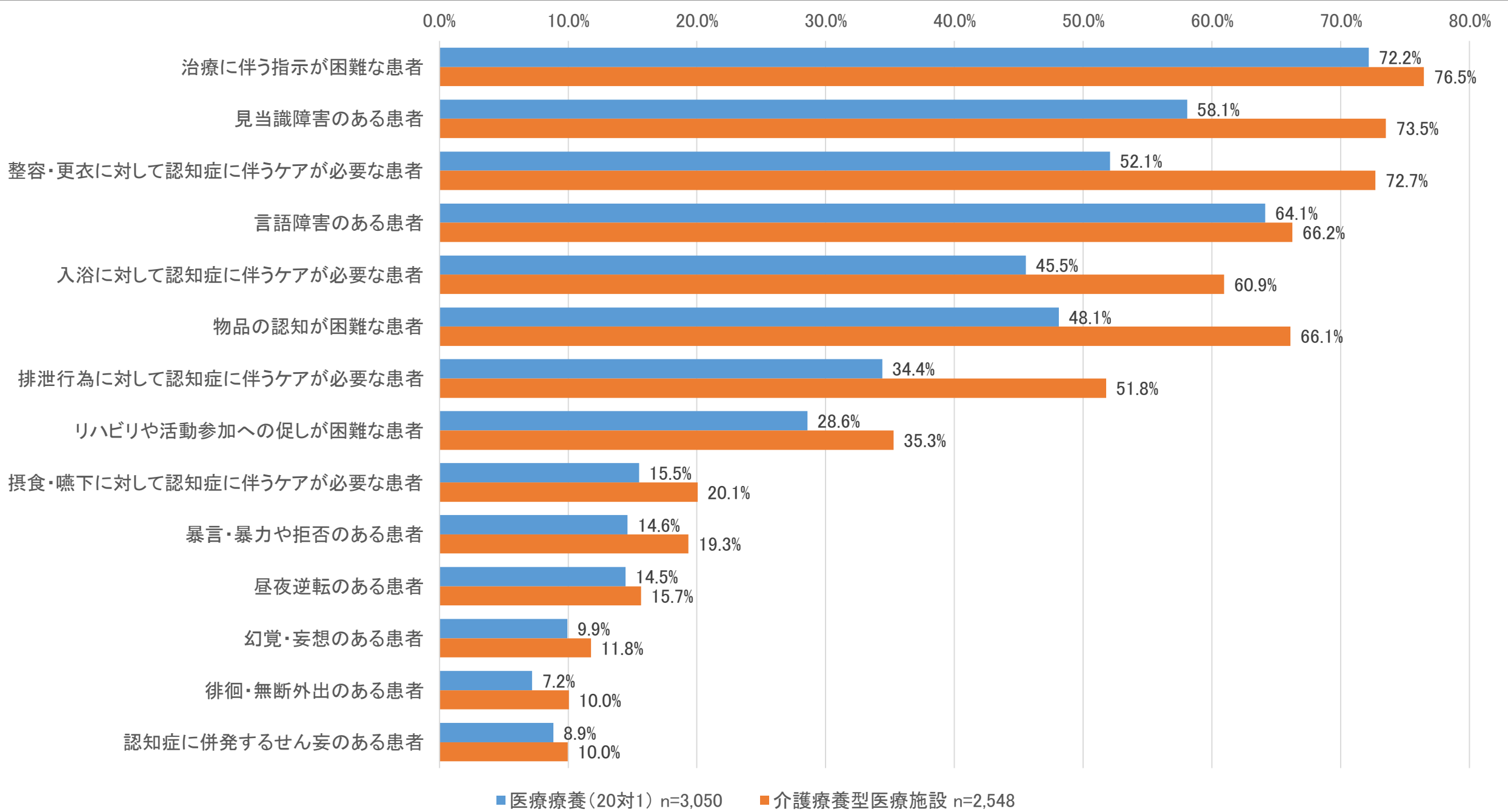
【グラフ2】 認知症自立度 病床種別ごとの比較



3. 認知症による「手のかかり具合」の評価(患者本人への対応)
 平成26年7月15日現在における認知症自立度Ⅱ～Mの入院患者のケアを行う上で、
 認知症があるために起こる問題点や大変さについて

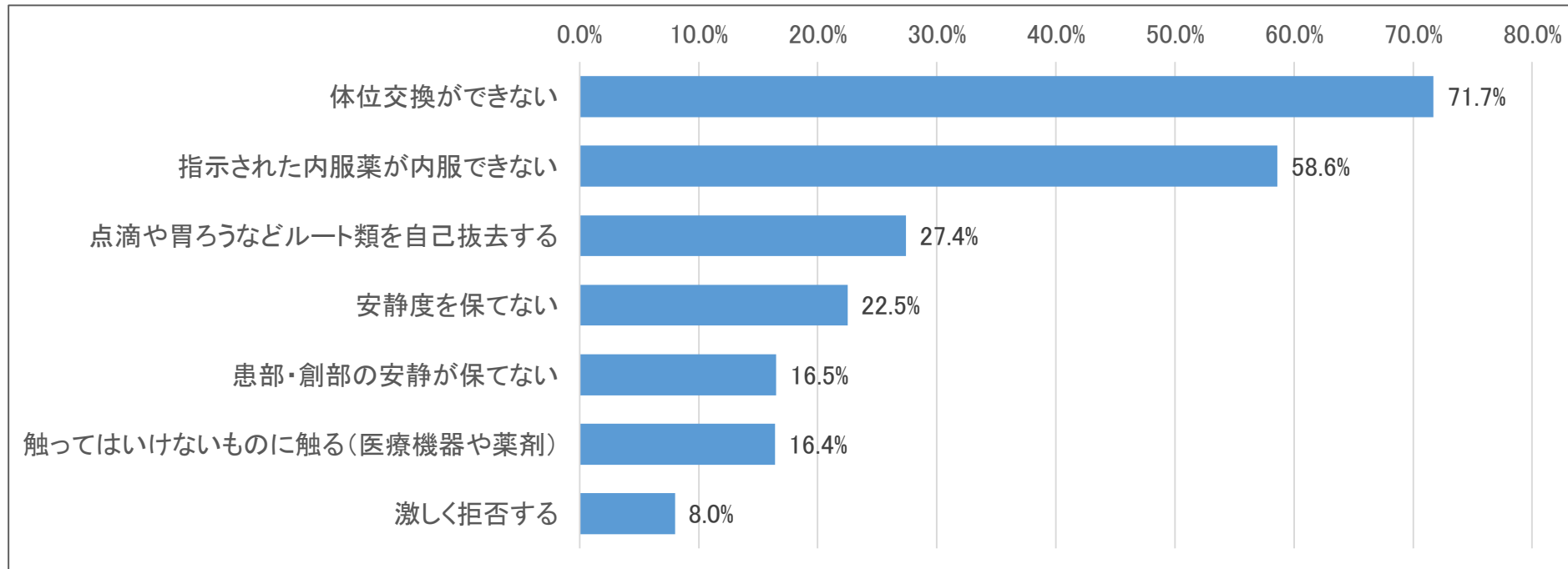
	全病床種別 n=8,260	医療療養 (20対1) n=3,050	介護療養型 医療施設 n=2,548
治療に伴う指示が困難な患者	5,876人 (71.1%)	2,201人 (72.2%)	1,948人 (76.5%)
見当識障害のある患者	5,191人 (62.8%)	1,771人 (58.1%)	1,873人 (73.5%)
整容・更衣に対して認知症に伴うケアが必要な患者	4,925人 (59.6%)	1,588人 (52.1%)	1,852人 (72.7%)
言語障害のある患者	4,902人 (59.3%)	1,956人 (64.1%)	1,688人 (66.2%)
入浴に対して認知症に伴うケアが必要な患者	4,380人 (53.0%)	1,389人 (45.5%)	1,553人 (60.9%)
物品の認知が困難な患者	4,217人 (51.1%)	1,467人 (48.1%)	1,684人 (66.1%)
排泄行為に対して認知症に伴うケアが必要な患者	3,539人 (42.8%)	1,049人 (34.4%)	1,319人 (51.8%)
リハビリや活動参加への促しが困難な患者	2,496人 (30.2%)	872人 (28.6%)	899人 (35.3%)
摂食・嚥下に対して認知症に伴うケアが必要な患者	1,609人 (19.5%)	473人 (15.5%)	511人 (20.1%)
暴言・暴力や拒否のある患者	1,340人 (16.2%)	446人 (14.6%)	493人 (19.3%)
昼夜逆転のある患者	1,234人 (14.9%)	441人 (14.5%)	399人 (15.7%)
幻覚・妄想のある患者	926人 (11.2%)	303人 (9.9%)	300人 (11.8%)
徘徊・無断外出のある患者	876人 (10.6%)	220人 (7.2%)	256人 (10.0%)
認知症に併発するせん妄のある患者	828人 (10.0%)	270人 (8.9%)	254人 (10.0%)

【グラフ3】 認知症による手のかかり具合「ケアを行う上で、認知症があるために起こる問題点や大切さ」 医療療養(20対1)と介護療養型医療施設の比較



4-1. 治療に伴う指示が困難な患者(n=5,876)のうち、下記の項目に該当する患者(複数回答)

	患者数	比率
体位交換ができない	4,216	71.7%
指示された内服薬が内服できない	3,445	58.6%
点滴や胃ろうなどルート類を自己抜去する	1,610	27.4%
安静度を保てない	1,320	22.5%
患部・創部の安静が保てない	968	16.5%
触ってはいけないものに触る(医療機器や薬剤)	962	16.4%
激しく拒否する	472	8.0%

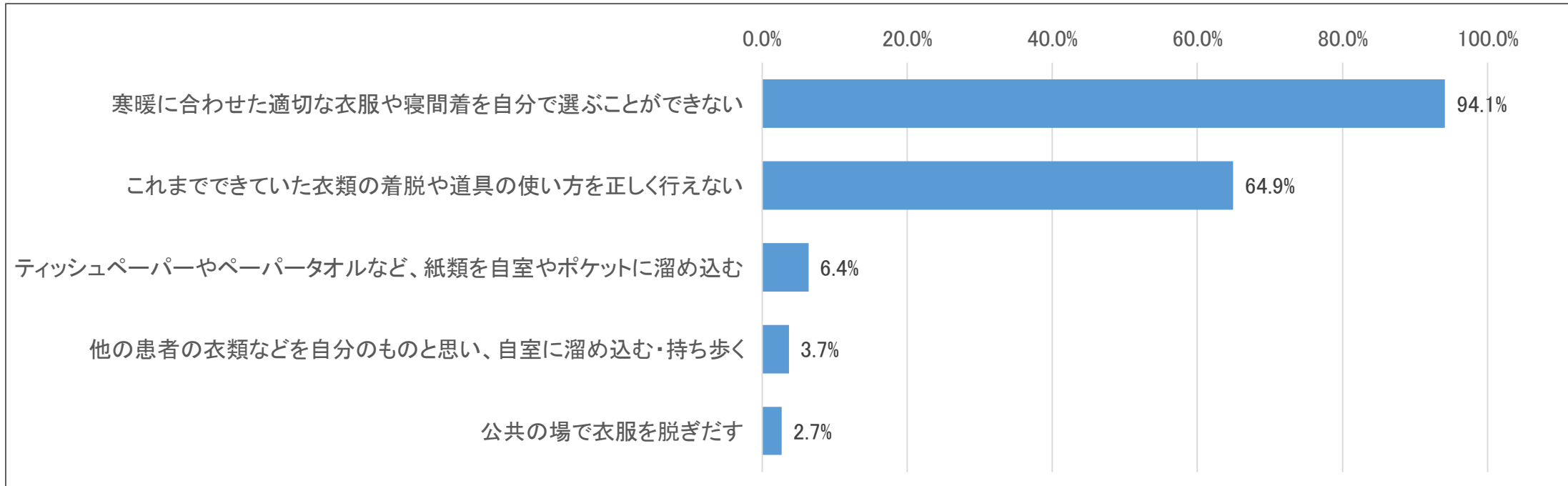


4-2. 見当識障害のある患者(n=5,191)のうち、下記の項目に該当する患者(該当患者)

	患者数	比率
入院している状況を理解できない	4,403	84.8%

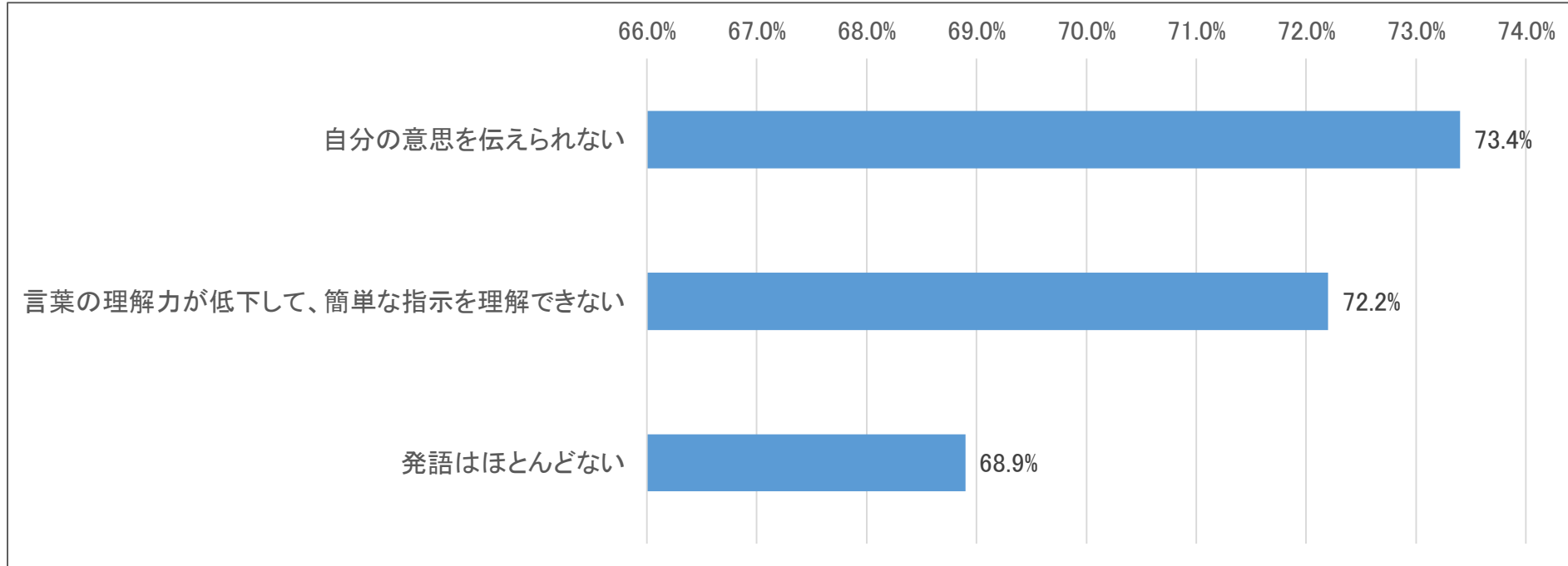
4-3. 整容・更衣に対して認知症に伴うケアが必要な患者(n=4,925)のうち、下記の項目に該当する患者(複数回答)

	患者数	比率
寒暖に合わせた適切な衣服や寝間着を自分で選ぶことができない	4,632	94.1%
これまでできていた衣類の着脱や道具の使い方を正しく行えない	3,196	64.9%
ティッシュペーパーやペーパータオルなど、紙類を自室やポケットに溜め込む	314	6.4%
他の患者の衣類などを自分のものと思い、自室に溜め込む・持ち歩く	182	3.7%
公共の場で衣服を脱ぎだす	132	2.7%



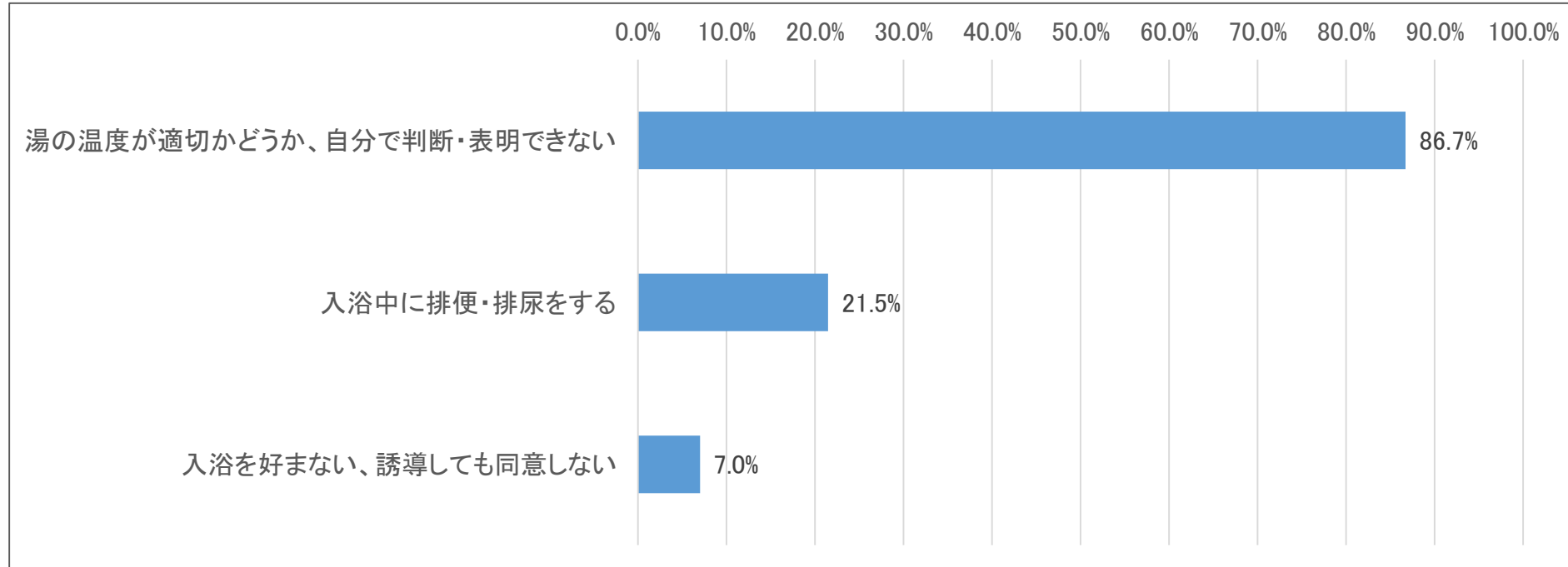
4-4. 言語障害のある患者(n=4,902)のうち、下記の項目に該当する患者(複数回答)

	患者数	比率
自分の意思を伝えられない	3,596	73.4%
言葉の理解力が低下して、簡単な指示を理解できない	3,541	72.2%
発語はほとんどない	3,377	68.9%



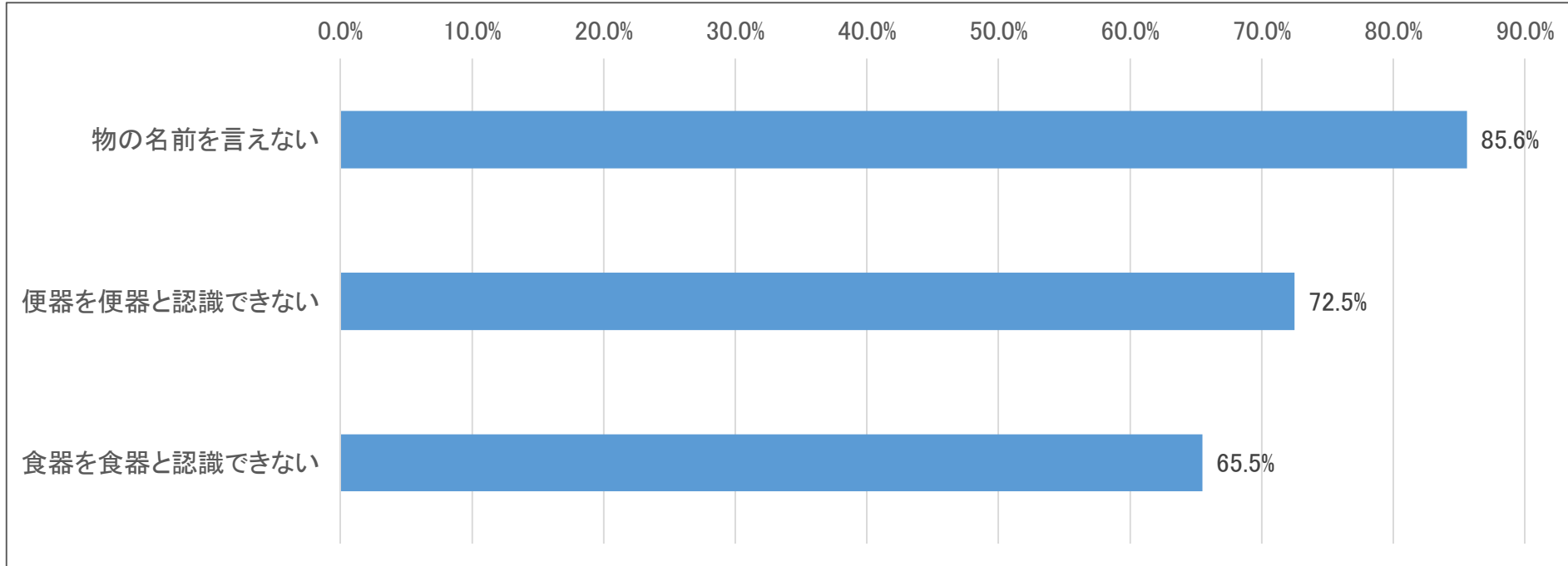
4-5. 入浴に対して認知症に伴うケアが必要な患者 (n=4,380)のうち、下記の項目に該当する患者(複数回答)

	患者数	比率
湯の温度が適切かどうか、自分で判断・表明できない	3,796	86.7%
入浴中に排便・排尿をする	940	21.5%
入浴を好まない、誘導しても同意しない	307	7.0%



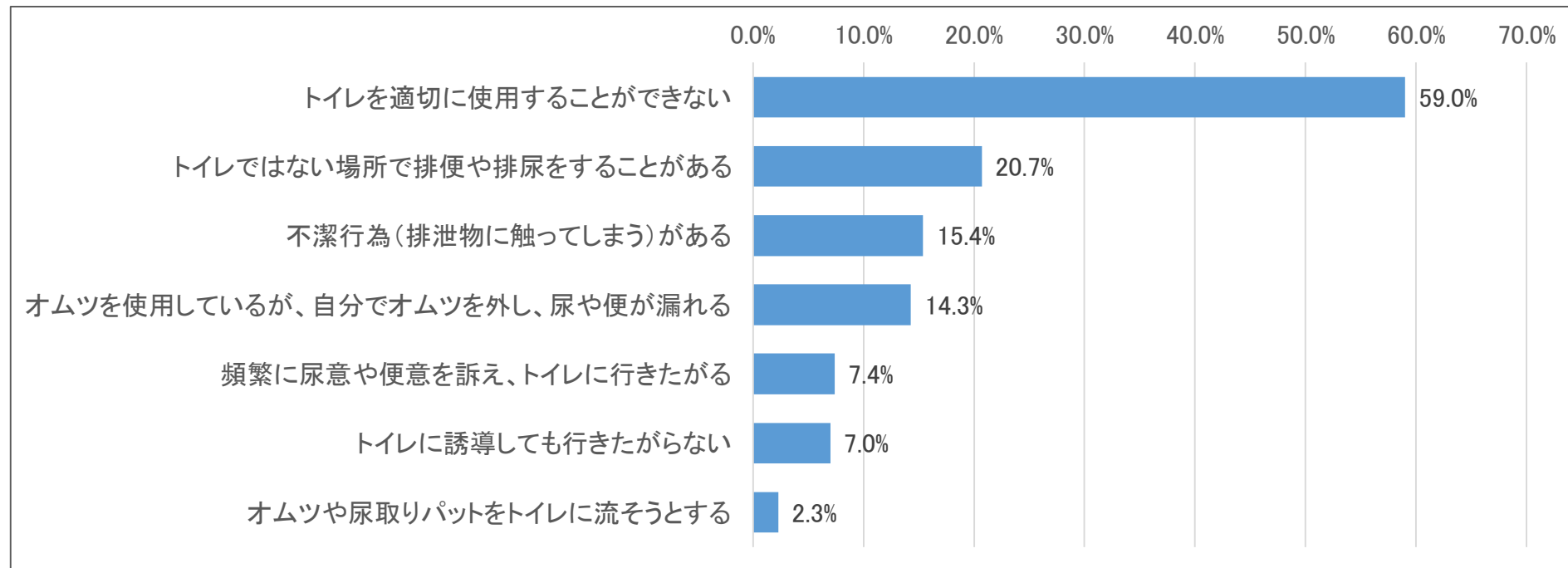
4-6. 物品の認知が困難な患者(n=4,217)のうち、下記の項目に該当する患者(複数回答)

	患者数	比率
物の名前を言えない	3,610	85.6%
便器を便器と認識できない	3,056	72.5%
食器を食器と認識できない	2,763	65.5%



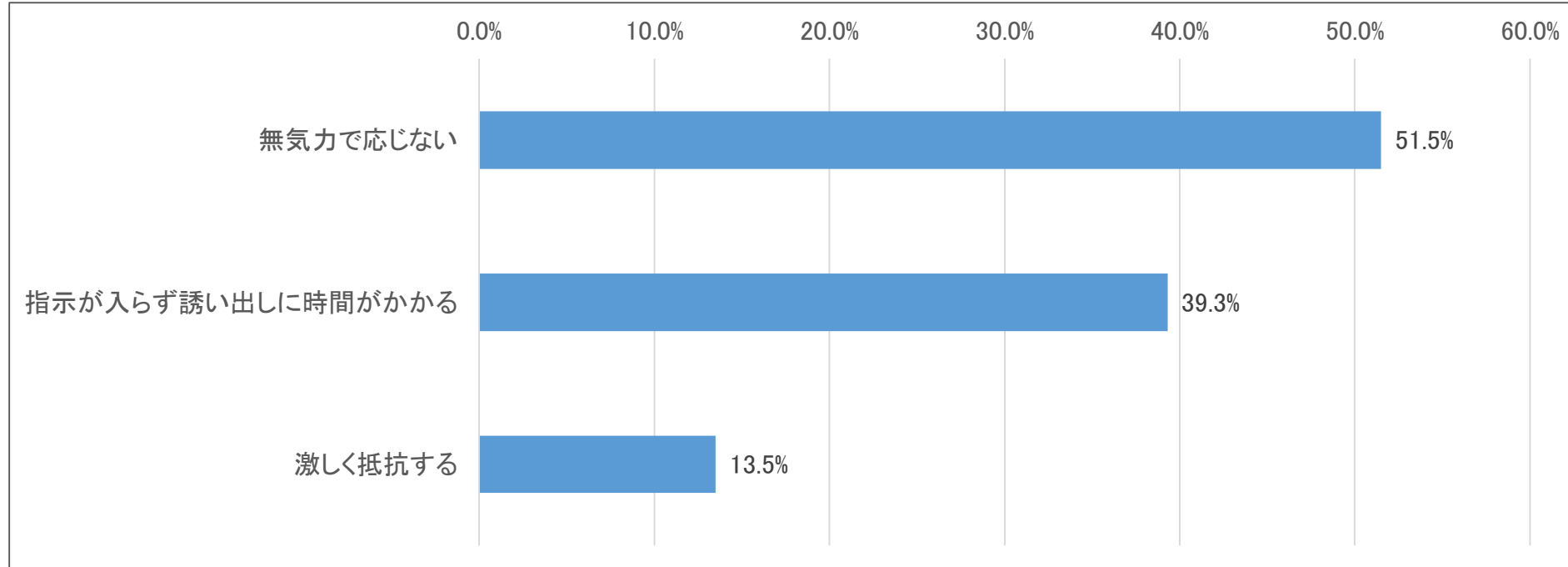
4-7. 排泄行為に対して認知症に伴うケアが必要な患者(n=3,539人)のうち、下記の項目に該当する患者(複数回答)

	患者数	比率
トイレを適切に使用することができない	2,087	59.0%
トイレではない場所で排便や排尿をすることがある	734	20.7%
不潔行為(排泄物に触ってしまう)がある	545	15.4%
オムツを使用しているが、自分でオムツを外し、尿や便が漏れる	506	14.3%
頻繁に尿意や便意を訴え、トイレに行きたがる	263	7.4%
トイレに誘導しても行きたがらない	249	7.0%
オムツや尿取りパットをトイレに流そうとする	82	2.3%



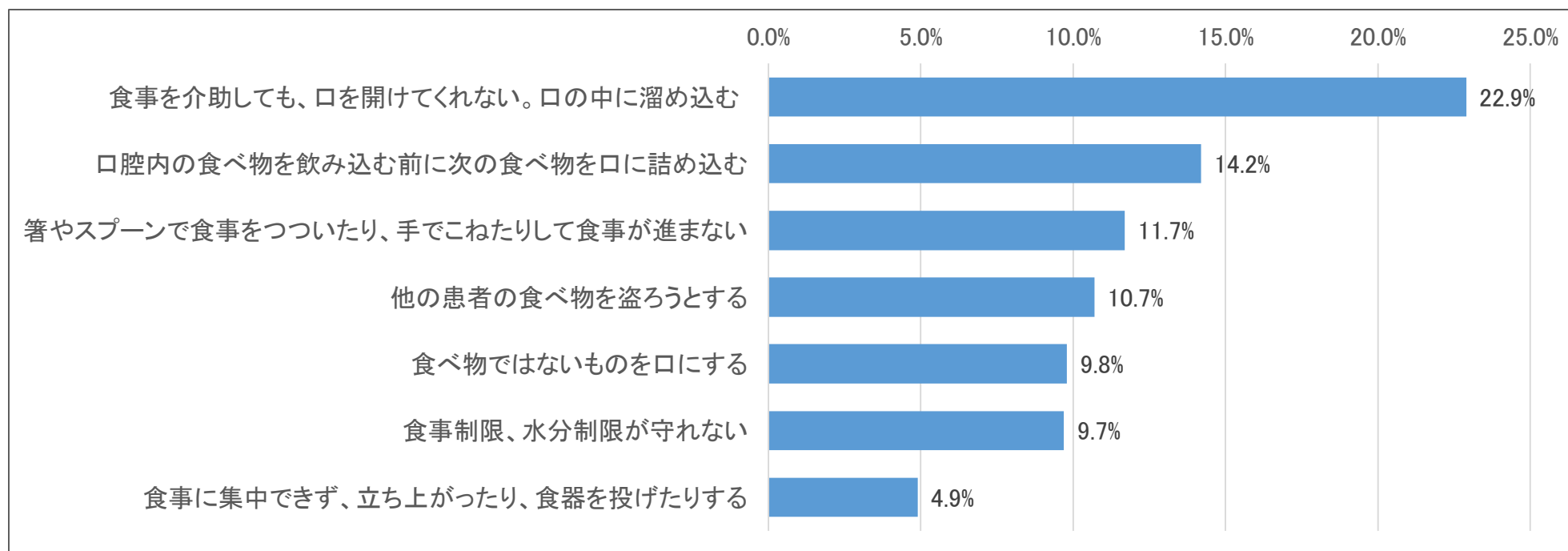
4-8. リハビリや活動参加への促しが困難な患者(n=2,496)のうち、下記の項目に該当する患者(複数回答)

	患者数	比率
無気力で応じない	1,286	51.5%
指示が入らず誘い出しに時間がかかる	980	39.3%
激しく抵抗する	337	13.5%



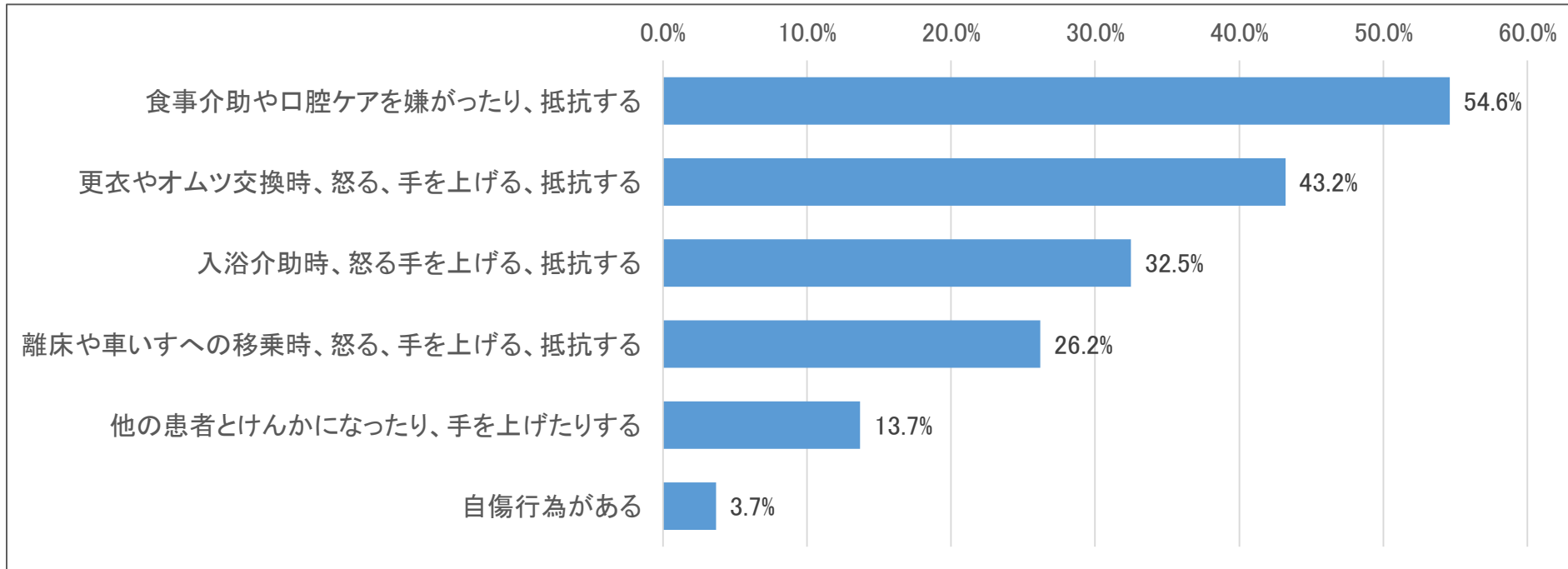
4-9. 摂食・嚥下に対して認知症に伴うケアが必要な患者(n=1,609)のうち、下記の項目に該当する患者(複数回答)

	患者数	比率
食事を介助しても、口を開けてくれない。口の中に溜め込む	368	22.9%
口腔内の食べ物を飲み込む前に次の食べ物を口に詰め込む	228	14.2%
箸やスプーンで食事をつついたり、手でこねたりして食事が進まない	189	11.7%
他の患者の食べ物を盗ろうとする	172	10.7%
食べ物ではないものを口にする	157	9.8%
食事制限、水分制限が守れない	156	9.7%
食事に集中できず、立ち上がったたり、食器を投げたりする	79	4.9%



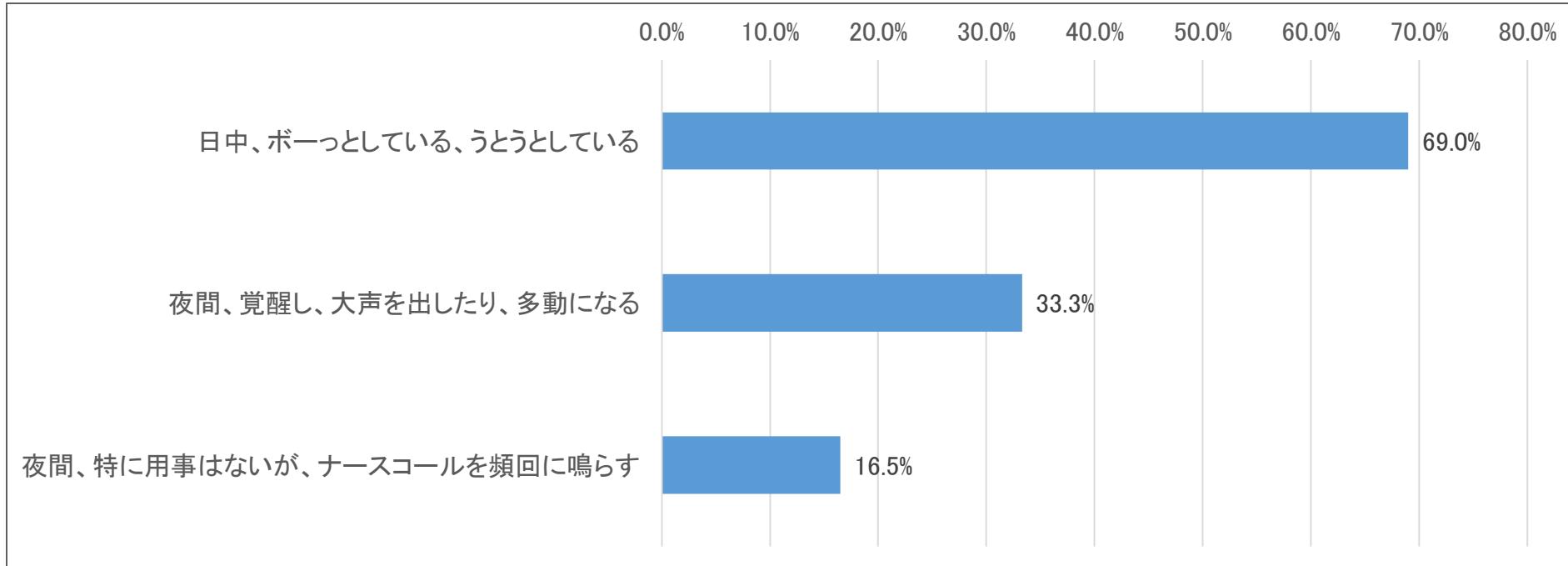
4-10. 暴言・暴力や拒否のある患者(n=1,340)のうち、下記の項目に該当する患者(複数回答)

	患者数	比率
食事介助や口腔ケアを嫌がったり、抵抗する	731	54.6%
更衣やオムツ交換時、怒る、手を上げる、抵抗する	579	43.2%
入浴介助時、怒る手を上げる、抵抗する	436	32.5%
離床や車いすへの移乗時、怒る、手を上げる、抵抗する	351	26.2%
他の患者とけんかになったり、手を上げたりする	184	13.7%
自傷行為がある	50	3.7%



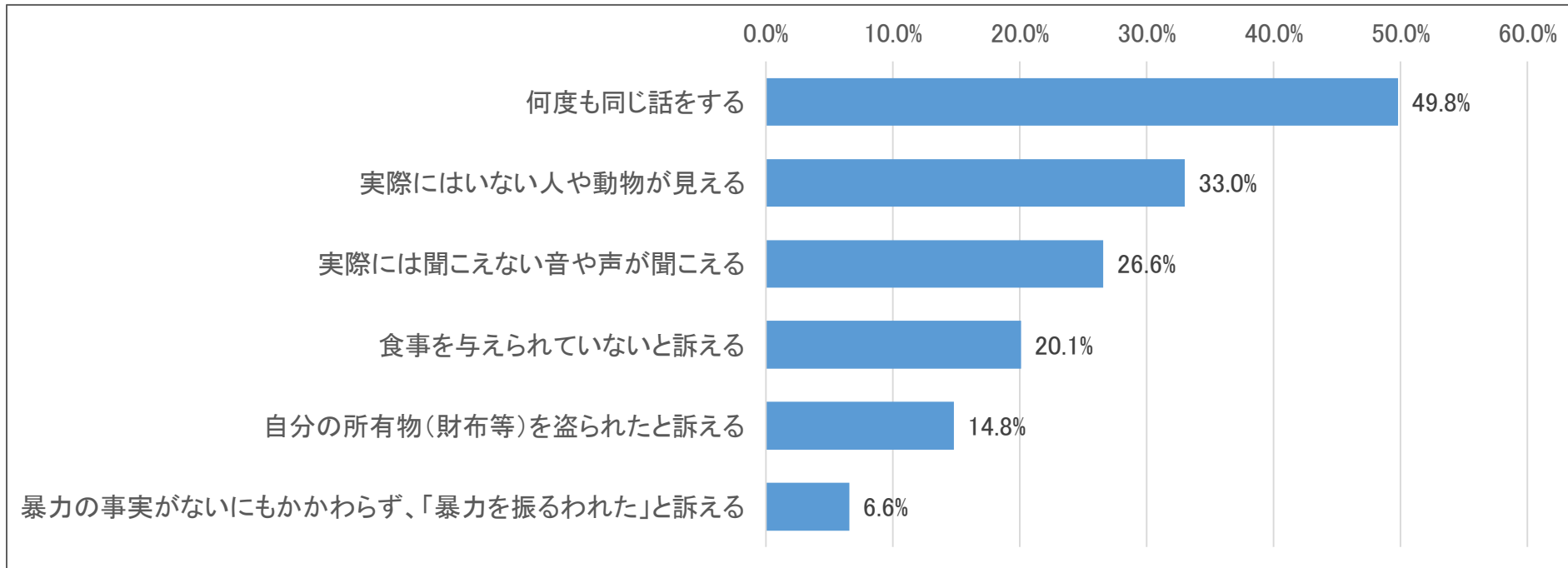
4-11. 昼夜逆転のある患者 (n=1,234)のうち、下記の項目に該当する患者(複数回答)

	患者数	比率
日中、ボーっとしている、うとうとしている	852	69.0%
夜間、覚醒し、大声を出したり、多動になる	411	33.3%
夜間、特に用事はないが、ナースコールを頻回に鳴らす	203	16.5%



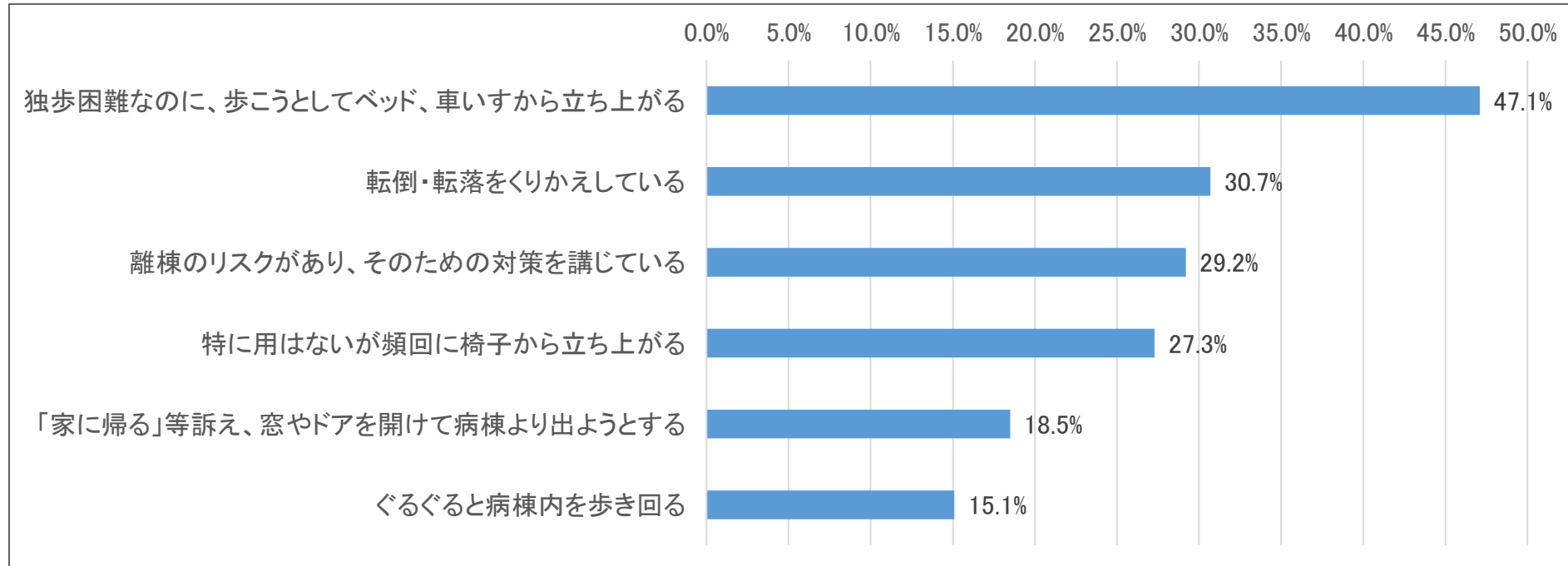
4-12. 幻覚・妄想のある患者(n=926)のうち、下記の項目に該当する患者(複数回答)

	患者数	比率
何度も同じ話をする	461	49.8%
実際にはいない人や動物が見える	306	33.0%
実際には聞こえない音や声が聞こえる	246	26.6%
食事を与えられていないと訴える	186	20.1%
自分の所有物(財布等)を盗られたと訴える	137	14.8%
暴力の事実がないにもかかわらず、「暴力を振るわれた」と訴える	61	6.6%



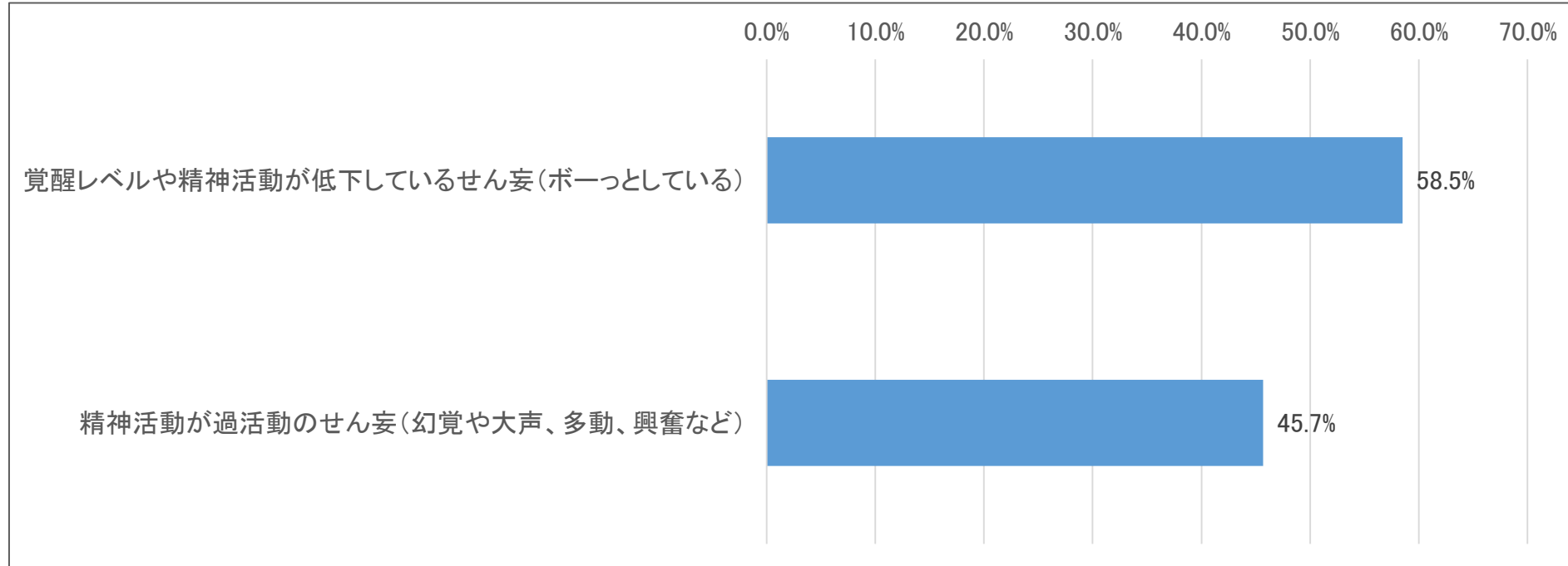
4-13. 徘徊・無断外出のある患者(n=876)のうち、下記の項目に該当する患者(複数回答)

	患者数	比率
独歩困難なのに、歩こうとしてベッド、車いすから立ち上がる	413	47.1%
転倒・転落をくりかえしている	269	30.7%
離棟のリスクがあり、そのための対策を講じている	256	29.2%
特に用はないが頻回に椅子から立ち上がる	239	27.3%
「家に帰る」等訴え、窓やドアを開けて病棟より出ようとする	162	18.5%
ぐるぐると病棟内を歩き回る	132	15.1%



4-14. 認知症に併発する“せん妄”のある患者(n=828)のうち、下記の項目に該当する患者(複数回答)

	患者数	比率
覚醒レベルや精神活動が低下しているせん妄(ボーっとしている)	484	58.5%
精神活動が過活動のせん妄(幻覚や大声、多動、興奮など)	378	45.7%



5. 家族の対応

	全病床種別	医療療養 (20対1)	介護療養型 医療施設
平成26年7月15日現在における認知症自立度Ⅱ～Mの入院患者総数	8,260人	3,532人	2,641人
そのうち、医療・ケアにおいて認知症の影響があることを説明しても、理解を得ることが困難なご家族数	241家族 (2.9%)	66家族 (1.9%)	82家族 (3.1%)

6. 手間の相対評価

6-1. 認知症があるために生じる医療・看護・介護ケアを必要とする患者

	全病床種別	医療療養 (20対1)	介護療養型 医療施設
平成26年7月15日現在における認知症自立度Ⅱ～Mの入院患者総数	8,260人	3,532人	2,641人
そのうち、認知症があるために生じる医療・看護・介護ケアを必要とする患者数	5,700人 (69.0%)	1,873人 (53.0%)	1,949人 (73.8%)

6-2. 平成26年7月15日現在、6-1の患者(=5,700人)について、患者1人あたりにかかる1日あたりのケア時間(分)

回答数	平均(分)
200	122.3

7. 平成26年7月15(1日間)における認知症自立度Ⅱ～Mの入院患者を対象とした「ポジティブな取り組み」

7-1 非薬物療法・アクティビティの取り組み

	回答数	週あたりの 開催頻度 平均(日/1週間)	1日の参加患者数 平均(人)	1日のスタッフ数 平均(人)	スタッフ1人あたり が要する時間 平均(分)
集団体操	84	4.0	13.7	3.0	21.2
入院生活に“ハリ”が出るような活動や役割を持たせる活動	57	4.0	6.4	2.2	36.2
病棟内デイの取り組み(病棟内において、デイサービスのような活動を行うこと)	32	3.9	13.4	3.9	59.2
アロマテラピー	8	3.8	12.2	2.4	57.0
レクリエーションの取り組み	117	3.2	12.1	3.3	39.0
回想法	19	3.2	7.5	1.8	34.0
園芸療法	12	3.1	2.3	1.5	23.6
音楽療法	62	3.0	11.2	2.4	33.0
マッサージ	15	2.9	5.3	1.9	36.3
病棟内カフェの取り組み(病棟内に喫茶店のような場所を設け、提供すること)	21	2.2	13.0	3.1	31.8

7-2. 平成26年7月15日(1日間)における認知症自立度Ⅱ～Mの入院患者への「かかわり方」に関する取り組み

①やさしい声かけの取り組み(やさしい態度で短文の説明を繰り返すなど伝わりやすくすること)

	回答数	平均
対象となった患者数(人)	176	37.8 (100床あたり)
要したスタッフ数(人)	174	22.5 (100床あたり)
スタッフ1人あたりが要した時間(分)	171	34.3

②傾聴の取り組み(患者本人の訴えにきちんと耳を傾けて親身に聴くこと)

	回答数	平均
対象となった患者数(人)	179	24.8 (100床あたり)
要したスタッフ数(人)	178	19.0 (100床あたり)
スタッフ1人あたりが要した時間(分)	176	26.0

③散歩の取り組み(気分転換の一環として散歩すること)

	回答数	平均
対象となった患者数(人)	90	5.3 (100床あたり)
要したスタッフ数(人)	89	5.8 (100床あたり)
スタッフ1人あたりが要した時間(分)	89	20.6